

在日難民などが語る「今、日本社会に伝えたいこと」

発表者

さぼうと21 支援生



モウ チェンウン
孟 倩雯
国籍：中国
埼玉大学
教養学部 4年



ナガミ ヤスユキ
永見 康勇
国籍：中国
静岡大学 大学院
工学研究科 修士課程 2年



イシカワ レイナ
石川 麗奈
国籍：中国
神戸大学 大学院
経営学研究科 修士課程 2年



ミヤガサキ ナンシー リサ
宮ヶ追 ナンシー 理沙
国籍：日本(元ブラジル)
東京外国語大学 大学院
総合国際学研究科 博士前期
課程 2年



レー ティ ニャット クイ
国籍：ベトナム
東京大学 大学院
理学系研究科 修士課程 2年



ファム ニーブン
国籍：ベトナム
東京工業大学 大学院
イノベーションマネジメント
研究科 修士課程 1年



イマミ
今見 ムスターファ
国籍：日本(元アフガニスタン)
桃山学院大学
国際教養学部 3年



グエン ユイ
国籍：ベトナム
兵庫県立大学
工学部 4年

(順不同)



オルム リサ オゲチ
国籍：ナイジェリア
横浜市立大学
国際総合科学部 4年



ダイ フェン
国籍：中国
宮崎大学 大学院
工学研究科 修士課程 2年



モデレーター：山田 寛

元嘉悦大学 教授
元読売新聞 アメリカ総局長

社会福祉法人 さぼうと21 活動内容

【理事長：吹浦 忠正】

インドシナ紛争の影響により、多くの難民が世界に救いを求め流出した。当時、日本政府は難民問題に消極的な中、当会の創設者 故相馬雪香が1979年、その姉妹団体として「社会福祉法人さぼうと21」を設立。「困ったときはお互い様」をモットーに、日本国内の難民等、定住外国出身者の自立支援のため、政治、宗教に中立な立場で活動をしています。

相談事業

日常の暮らしの中で困ったことがあったときには相談にのり、出来る限り公的機関や制度を利用することを原則として、相談者の将来を共に考え、日本の生活に必要な知識、法的な手続きなど様々な情報を提供しています。

学習支援事業

日本で生活をしていくために必要な学習をする場を提供しています。毎週土曜日には、九九を唱える小学生、大学受験を控えた高校3年生、就職のために面接練習する方など、様々な年代の方々が通っています。多彩なバックグラウンドをもつボランティアの方々が、週末の貴重な時間を学習支援活動に充ててくださっています。

自立支援事業

「資格をとって仕事をしたい」「自分と同じような環境にある在住外国人の役に立つような研究をしたい」・・・経済的事情から就学が困難でありながら、必死で高校や大学に通い、自分の力で将来の扉を開こうとしている若者達が大勢います。そうした若者に以下のプログラムを設け応援しています。

①生活支援プログラム

高校生以上を対象に、経済的理由で通学や進学に困難を抱えている学生を対象に、経済的支援をしています。

②坪井一郎・仁子 学生支援プログラム

東洋熱工業株式会社創設者の故坪井一郎・仁子ご夫妻のご遺志により寄贈されたご遺産の一部を原資として設立されました。将来有望な成績優秀者で、経済的事情により学業遂行が困難な、難民等の外国出身者を対象とし、年額400,000円～1,000,000円を毎年10名程の学生に給付しております。

☆今年度の支援生が、この度のプログラムで発表致します。

お申し込み

FAX : 03-5449-1332 / E-mail : info@support21.or.jp

氏 名	ふりがな	電 話	
		FAX	
住 所	〒		

【会の活動はみなさまの会費・ご寄付により成り立っております。ぜひご協力ください。】

ゆうちょ銀行：00180-7-25470／加入者名：社会福祉法人 さぼうと21

当法人への会費・ご寄付は税法上の優遇措置が受けられます。